



浜田市立 長浜小学校 浜っ子だよ

開校150周年記念事業 PTA研修会

【こんな子に育つといいな ・大人としてできること】

10月24日(火)、開校150周年記念事業の一つとしてのPTA研修会がありました。研修会には50名近くの参加があり、【こんな子に育つといいな・大人としてできること】をテーマにして、9つのグループに分かれてフリートークをしました。私も1つのグループに入れていただき、初めて言葉を交わす保護者の方とお話できたり、多くの方のお考えを聞くことができたりし、楽しくて素敵な時間を過ごすことができました。語り合う中で、自分と向き合い、自分の思いや考えを改めて整理することもできました。笑いもあり、新たな気づきもあり、誰かと語り合っているといいなあと感じました。参加されたお一人お一人が書かれたワークシートをまとめました。ご紹介します。

【長浜っ子、こんな子に育つといいな】

- ・自他の尊重 ・夢をもちがんばる ・いろいろな人と関われる
- ・あきらめない ・何事にもチャレンジ ・思いやりがある
- ・やさしい ・挨拶、礼儀 ・共感力 ・自分に自信をもつ
- ・感謝できる ・ふるさとを大切に ・自立 ・たくましい
- ・自分の思いをしっかりと伝える ・他者に何かを与えられる

【大人としてできること】

- ・一緒に頑張る ・大人の正直な思いを伝える ・他者に優しく
- ・体験の機会や場の提供 ・愛情をいっぱい注ぐ ・笑顔
- ・ポジティブな言葉かけ ・まずは大人が手本を示す
- ・ふるさとの良さを伝える ・大人の自己肯定感を高める
- ・子どもの声に耳を傾ける ・心に余裕、ゆとりをもつ
- ・大人同士が仲良く ・今を大切に生きる
- ・自分がしてほしいことを子どもにする
- ・見守る、待つ、受け止める、認める、ほめる

参加者それぞれが願いを出し合い、そしてそのために大人としてできることを考えました。どれもみな素敵な感じ方であり、考え方だと思いました。どのグループにおいても、お互いの意見に耳を傾け、頷きながら、微笑みながら、その意見を温かく受け止め合っていました。この時の大人の姿を子どもたちが見たらどう感じるだろうか、そんなことを考えました。

開校150周年は大きな節目です。しかし、長浜小学校はこれからもまだまだ歴史を重ねていきますし、長浜っ子とその歴史を紡いでいきます。その長浜っ子が今よりももっと素敵に、もっときらきらと輝いてほしいと願いながら思いを語り合ったこの日の研修会は、とても意味のある、素晴らしいものでした。ご参加・ご協力いただいた多くの皆様、本当にありがとうございました。

保護者・地域の皆様。子どもたちは私達大人の後姿を見ています。私達大人が頑張る姿、いきいきと生きる姿は、必ず子どもたちにいい影響を与えると私は考えます。これからも、長浜小学校そして長浜っ子がかっこよく輝き続けるよう、私達大人が手を取り、力を合わせ、輝く大人で居続けましょう。どうぞよろしくお祈りいたします。

浜田市教育委員会ボランティア表彰

～「地域の子どもをみんなで守り、育てま賞」～

10月26日(木)、令和5年度 浜田市教育委員会ボランティア表彰「地域の子どもをみんなで守り、育てま賞」の表彰式が長浜小学校体育館で行われました。この賞は、長年にわたって子どもたちの安全・安心を守るための見守り活動等を行ってくださっている個人や団体に対して贈られるものです。今年度、長浜・熱田地区子ども見守りボランティアグループの皆様が表彰されました。本当におめでとうございます。



今回受賞された子ども見守りボランティアグループの皆様は、平成17年2月に「子ども見守り隊シルバーPTA」として発足した団体を継承する形で、平成23年から活動を開始されました。それから今年で12年。12年と言えば、現在の6年生が誕生した年からずっと活動を続けられ、長浜小学校の子どもたちを見守り続けてこられたこととなります。雨の日も、風の日も、暑い夏も、寒い冬も…子どもたちが学校に通う日は毎日です。それを12年間ずっと続けてくださってきたのです。そのご労苦にはほんとに頭が下がりますし、学校としましてはいくら感謝してもしきれません。

表彰式では、児童を代表して6年生の下間心陽さん、下間心葉さんが、日頃の見守り活動に対する感謝の気持ちを伝え、全校児童全員でお礼を言わせていただきました。学校では、自分の命は自分で守ることができるようになってほしいと願いながら安全指導を継続して行っていますが、やはり保護者・地域の皆様方の温かい見守りがなければ、十分な安全確保は難しいと考えます。

「長浜、そして浜田の宝であり、未来を担う子どもたちの安全・安心のために」、これからもお力を貸していただくとともに、保護者・地域の皆様方にも、引き続き子どもたちの安全確保にご協力いただきますよう、お願いいたします。

ぐんぐんタイム、スタート！！

11月2日(木)から、ぐんぐんタイムがスタートしました。ぐんぐんタイムとは、毎週木曜日の朝活動(8時10分～20分)の時間を利用して、すべての学級において子どもたちが算数の自主学習に取り組む時間です。共通の問題に取り組んだり、自分で選択した問題やプリントに取り組んだりしながら、自分の力を伸ばすための時間です。子どもたちの力が「ぐんぐん」伸びるように、子どもたち自身が自分の力を「ぐんぐん」伸ばすようにと考え、この取組を始めました。

始まったばかりですが、子どもたちはほんとに真剣に、ほんとに一生懸命にこのぐんぐんタイムに取り組んでいます。先月の学校だよにも書きましたが、学力は子どもたちの「生きる力」の大切な要素の一つであり、子どもたちが夢や希望をもち、自分らしく、よりよく生きていくために必要なものです。その学力を、子どもたちが自ら獲得しようと頑張る姿は輝いています。これからも、ぐんぐん伸びようとする子どもたちの思いや気持ちにしっかりと応えていきたいと考えます。



浜田市小中学校連合音楽祭

11月8日（水）、浜田市小中学校連合音楽祭が石央文化ホールで開催されました。4年ぶりに有観客での開催となり、多くの観客が集まる音楽祭となりました。10月に入ってから、長い時間をかけて練習に取り組んできた6年生にとって、素晴らしい音響設備や照明、めったに立つことのできない大きなステージでの発表は心に残る貴重な経験になったようでした。



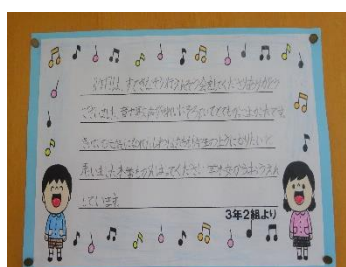
- 石央文化ホールに入ってみると、すごく広くてびっくりしました。リハーサルをした時に、合唱も合奏もうまくできてうれしかったです。本番のステージに立つと、ドキドキしたけどみんながいるから大丈夫だと思って合唱すると、声もきれいにいせだし、最後まであきらめずに歌うことができました。合奏の時、練習では失敗したけど本番は成功したのでめっちゃうれしかったです。18時間練習したことが本番につながったと思いました。最初はがく心を見た瞬間に「無理だ」と思ったけど、やっていくとうまくなっていったよかったです。
- 練習はとても長く18時間という長さでした。でも本番はたったの7分。その7分でとてもいい演奏ができ、たくさんの拍手をもらい18時間の練習は無駄じゃなかったと感じました。その18時間は自分の成長にもつながったと思いました。演奏していた全員が一生懸命頑張っていて、みんなかっこよかったです。

音楽祭での1校あたりの発表時間は、出入りも含めてわずか8分間。演奏時間だけとなると実質7分程度。その7分のために6年生は長い、長い時間をかけ、みんな練習を重ねてきたのです。初めからうまくいったわけではありません。あきらめ、くじけそうになりながらも、それでも何度も何度も練習を繰り返す中で、少しずつ少しずつ全員の息と心が一つになり、長浜小学校の【音】を創りあげていったのです。

私は学校を代表する形で、本番の演奏を生で聴かせてもらいました。「頑張れ、大丈夫。」と手を合わせながら演奏を聴きました。ステージに立つ6年生の真剣な表情、凛とした立ち姿はほんとかっこよく、輝いていました、演奏はもちろんですが、何より、私には演奏にかける6年生の熱い思いが感じられ、聴いていて鳥肌が立ちました。こんな素晴らしい感動を与えてくれた6年生を誇りに思いましたし、感謝の気持ちでいっぱいになりました。

下級生は当日会場に行くことはできませんので、6日（月）に校内壮行演奏会を開き、下級生・教職員全員で6年生の演奏を聴きました。前に立つ6年生を見る下級生の眼差しは、まるで憧れのスターを見るかのようにキラキラし、また演奏を終えた6年生への拍手はなかなか鳴り止みませんでした。この演奏を聴いた3年生からは写真のような手紙が6年生に届けられました。

こういう下級生の温かい思いに背中を押され、6年生は音楽祭を素晴らしいものにしたのでした。学校を代表して見事な発表をした6年生。その6年生に離れた学校から声援を送った下級生。長浜小学校みんなで取り組んだ音楽祭になりました。



持久走大会に向けて…

11月14日（火）、持久走大会に向けて自主的に練習するマラソン週間の取組がスタートしました。この日から、朝の冷たい空気の中、朝日を浴びながら、たくさん子どもたちが校庭を走っています。その時間帯は、ちょうど朝日が子どもたちの背中を押しているように見え、子どもたちの姿は輝いています。



学校では、11月30日（木）に校内持久走大会を計画しています。本年度の学校教育目標【未来を「生きる力」の育成】の中にある「生きる力」の一つに【体力】を挙げていますが、具体的には「頑張る力・やりきる力」という風にとらえています。その「頑張る力・やりきる力」の育成を目指して、持久走大会を開催するのですが、大切なことは当日の記録や順位だけではなく、大会に向かうまでの日々の練習、あるいは自己目標達成に向かう努力の積み重ねだと考えます。長い距離を走るというのは、ほんとに苦しいものです。その苦しさを乗り越えて初めて、達成感や充実感を得ることができると思いますし、何より自分に対する自信を手に入れることができるのではないかと思います。

登校後すぐに荷物を置き、校庭に飛び出して走り始める子どもたちの姿からは、持久走大会に向けて自分を鍛え、自分を高めようとする意志のようなものが感じられます。朝日に照らされた姿がきらきら輝いて見えるのは、ただ朝日が当たっているからではなく、自分の目標に向かって頑張ろうという強い意志を持った子どもたちの姿が美しく、尊いものだからだと思のです。

本号の表面で紹介しました【長浜っ子、こんな子に育つといいな】の中にある、がんばる、チャレンジ、自分に自信をもつ、たくましい、そんな子どもに成長するべく子どもたちは持久走大会に向けて、自分の意志で努力し続けています。そんな子どもたちをしっかりと認め、励まし、そして肯定的に評価する。それが私達大人の大切な役割のような気がします。

保護者・地域の皆様、お時間がありましたら11月30日にはぜひご来校いただき、長浜っ子に温かいご声援をよろしく願いいたします。そして、子どもたちの輝く姿をご覧ください。お待ちしております。

12月の主な行事

- 5日（火）県学力調査（5・6年）標準学力調査（1～4年）
- 6日（水）委員会
- 7日（木）石見焼体験（6-1） 盲導犬学習（3年）
- 8日（金）石見焼体験（6-2）
- 12日（火）お話プレゼント SC来校
- 12日（火）～15日（金）個人面談
- 19日（火）ミシンボランティア（5年）
- 20日（水）SC来校
- 25日（月）2学期終業式 給食終了 集団下校13：45



- ※冬季休業 12月26日（火）～1月8日（月）
- ※学校閉庁日 12月29日（金）～1月3日（水）

★あくまでも予定ですので、変更になることもあります。